

## 令和2年度シラバス（地理歴史）

学番41 新潟県立見附高等学校

教科(科目)	地歴（世界史A）	単位数	2単位	学年	1学年（必修）
使用教科書	新版世界史A（実教出版）				
副教材等	ダイアログ世界史図表（第一学習社） 新版世界史A《新訂版》演習ノート（実教出版）				

### 1 学習目標

- 1 人類の誕生から19世紀ヨーロッパまでの歴史を中心に理解する。
- 2 諸資料に基づき世界的条件や日本の歴史と関連付けながら現代の諸課題を歴史的観点から考察する。
- 3 上記を通じて歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

### 2 指導の重点

- ・中学校での学習内容を鑑み、地理・公民分野も含めた学習の基礎を固める。
- ・様々な観点から歴史的事象を取り上げ、近現代世界に対する多角的で柔軟な見方を養うよう、様々な教材の選定・精選につとめる。

### 3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	世界史へのいざない	自然環境と歴史 日本列島のなかの世界の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オランダの事例から、地理と歴史との関連について関心を高め、自然環境と人間の活動が深く関係していることを考察するとともに、近世の日蘭関係をふまえた日本史と世界史とのつながりについても資料の活用を通して考察させる。</li> <li>・東アジアの自然環境と諸民族、漢字文化、儒教、中国を中心とする国際体制に触れ、日本を含む東アジア世界の特質をとらえさせる。</li> <li>・内陸アジア世界の形成過程や遊牧民族とオアシス民の活動、遊牧国家の動向にも触れる。</li> </ul>	2       6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> </ul>
	第Ⅰ部 ユーラシアの諸文明  第1章 ユーラシアの諸文明と交流	1 東アジア世界の形成 2 東アジア世界の展開 3 東アジア世界の発展 4 モンゴル帝国と元  5 南アジア世界の形成 6 南アジア世界の展開 7 オリエント世界の統一 8 地中海世界の形成 9 キリスト教の成立と発展 10 イスラームの成立 11 イスラーム帝国の分裂と多様化 12 ヨーロッパ世界の形成 13 ヨーロッパ世界の展開			
6	第Ⅱ部 一体化する世界と日本	14 ルネサンスと宗教改革 15 大航海時代 16 絶対王政の時代 17 西ヨーロッパ諸国の展開 18 東ヨーロッパ諸国の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアやアフリカ、アメリカを結びつけたヨーロッパ諸国の重商主義政策の動向を把握させる。</li> <li>・16世紀から18世紀にかけて、王権が強化され、主権国家体制が確立していくヨーロッパ世界の特質を把握させる。</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> </ul>
7	第2章 一体化に向かう世界と日本	19 近代ヨーロッパと世界貿易 20 イスラーム諸王朝の成熟 21 オスマン帝国とヨーロッパ 22 明から清へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オランダやイギリスなどヨーロッパ諸国の世界貿易の特質を把握させる。</li> <li>・オスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国というイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向と、明・清帝国と朝鮮や日本の関係など、繁栄するアジア各地の特質を把握させる。</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・定期考査</li> </ul>

8	第3章	23 産業革命	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ、アメリカの政治・経済的変革の過程を把握させ、産業社会と国民国家の形成を理解させる。</li> <li>(中間考査)</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> </ul>
9	ヨーロッパ・アメリカの諸改革と世界の變動	24 アメリカ独立革命 25 フランス革命 26 ナポレオンとウィーン体制 27 1848年の革命 28 19世紀後半のイギリスとフランス 29 19世紀後半のイタリアとドイツ			
10	動	30 東方問題と19世紀のロシア 31 19世紀のアメリカ合衆国 32 西アジアの変動 33 南アジアの変動 34 東南アジアの変動 35 中華帝国の動揺 36 明治維新と東アジア 37 東アジアの変革		<ul style="list-style-type: none"> <li>・西欧諸国やロシア、アメリカの進出によるアジア諸国の動揺と変革について理解させるとともに、日本の位置づけも確認させる。</li> </ul>	6
11	第III章 地球社会と日本 第4章 現代世界のあゆみ	38 急変する社会 39 帝国主義と世界分割 40 ヨーロッパ国際関係の緊張 41 第一次世界大戦とロシア革命 42 ヴェルサイユ体制と国際連盟 43 戦間期の欧米と日本 44 西アジア・インドの民族運動 45 東アジアの民族運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学技術の発達と独占資本の成立、国民統合の進展により帝国主義の時代が到来し、世界分割がすすめられていく過程を考察させる。</li> <li>・第一次世界大戦とソヴィエト連邦の成立の過程を把握させるとともに、大衆社会の出現とアジア・アフリカの民族運動を理解させる。</li> <li>(期末考査)</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> </ul>
12		46 世界恐慌とニューディール 47 ヒトラーとムッソリーニ 48 満州事変から日中戦争へ 49 ヨーロッパでの戦争 50 アジア・太平洋戦争 (太平洋戦争)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界恐慌を契機に第一次世界大戦後の国際協調体制が崩れ、ファシズム勢力の台頭による新たな国際対立が始まり第二次世界大戦に至った過程を理解させる。</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・定期考査</li> </ul>
1	第5章 第二次世界大戦後の世界	51 国際連合と冷戦 52 ヨーロッパとアジアの冷戦 53 アジア諸国の独立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米ソ両陣営による冷戦の展開を把握させるとともに、アジア諸国の独立が進むなかで米ソの対立があった影響について考察させる。</li> </ul>	12	
2		54 第三勢力の結集 55 多極化する世界 56 冷戦の終結と社会主義の変容 57 冷戦後の世界 58 21世紀の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体、地域統合の進展、現代世界と日本の動向について考察させる。</li> <li>(学年末考査)</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> </ul>

計 70時間 (50 分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・各単元ごとに小テストがあります。
- ・夏期休業中に課題を別途指示します。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度：関	思考・判断・表現：思	資料活用の技能：技	知識・理解：知
近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとしている。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収支し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事項を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けようとしている。
以上の観点を踏まえ、定期考査・小テスト・日常の課題・休業中の課題・授業中の態度等から総合的に判断して行う。			